

# 出町茶論だより

でまち さろん No. 65  
2021.5.1



## 第10回出町茶論運営推進会議開催

地域密着型通所介護の出町茶論は、半年に1回運営推進会議を開催していますが、昨年度はコロナ禍のため中止しましたが、感染状況が小康状態を保った、3月27日に第10回運営推進会議を開催しました。出席者は、ご利用者家族様、小川地域包括支援センター様、第二日赤看護専門学校講師の方、京極・室町の各老人福祉委員の皆様と出町茶論の職員です。内容は運営状況、ご利用者のご様子、地域活動の報告などです。



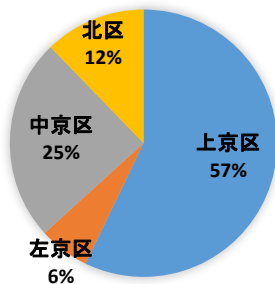
出町茶論は上京区なので同区のご利用者が多いのは当然ですが、歩いて起こしになる方もおいてになります。



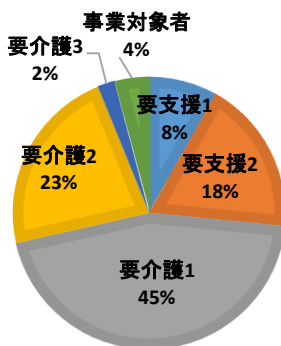
要支援1～要介護2までが約9割となっています。介護度をなるべく現状維持を続けられるか、または、ゆるやかに進めて行くことができればと考えています。



### お住まいの地域



### 介護度区分



### 年齢区分

・ご利用者数 49名(女性40名 男性9名)

年齢(歳)	90歳～	80歳～	70歳～	平均
女性(人)	20	17	3	88.
男性(人)	3	4	2	84

90歳代の方が増えてきましたが、何らかの疾患があっても日常生活に支障をきたさないように支援することが、私共の役割の一つと考えています。90歳でも前向きな気持ちで過ごしていただけるには、どのようにすればよいか、いつも試行錯誤の連続です。

◆どうぞご利用のお問い合わせ下さい◆

出町茶論(でまちさろん)

☎075-204-4716

京都市上京区寺町通今出川上る表町21 市川ビル

<https://demachi-salon.site/>

## 高齢期の生きがいとは

運営推進会議でも毎回、出町茶論の理念とサービスの目的を資料でお伝えしています。

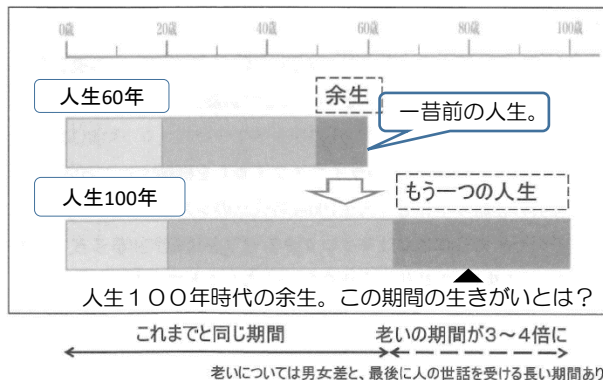
### ★理念

- ◆健康・生きがいづくりから、健康寿命延伸を目指します。
- ◆なくなるものを数えないで、恵まれているものに目を向け感謝し、前向きになる心の訓練をします。
- ◆人生の現役として社会参加し、次の世代へのバトンタッチをします。

### ★サービスの目的

ご利用者の要介護状態の発生をなるべく遅らせ、要介護状態にあってもその悪化を出来る限り遅らせて、さらに軽減を目指すために生活機能や自律のための社会参加の向上を目指し、ご利用者、一人ひとりの生きがいや自己実現のための取り組みを支援して、生活の質の向上を目指します。

人生100年時代を生きるうえで、生きがいが大切ですが、エビデンスでは測れない、生きがいづくりとな何でしょうか。精神科医の神谷美恵子さんの言葉に「いったい私たちの毎日の生活を生きるかいいのあるように感じさせているものは何であろうか。ひとたび生きがいをうしなったら、どんなふうにしてまた新しい生きがいを見いだすのだろうか」



人生100年時代の生きがいについて、ご利用者と共にまた、ご家族、地域の皆さん、そして介護事業者の皆さんと考えて行けたらと思います。

## スナックエンドウの収穫と夏野菜苗植え



出町茶論で借りている区画の看板です。今日行く(教育)、今日用(教養)、貯筋。



スナックエンドウの収穫

夏野菜の苗を植えました。ミニトマト、キュウリ、万願寺トウガラシ。収穫が楽しみです。



農園ではさくらんぼが出来てユズの白い花が咲きました

